

(出題の意図)

日本の産業政策には、拠点開発型の政策が多い。

1990 年代、廃棄物の最終処分場の新規立地問題に悩んでいた旧通産省と旧厚生省が、全国の地方自治体が計画した廃棄物削減やその有効利用ができる工場を新規立地する際に、将来性もしくは独創性のある計画に、補助金を支給し、環境産業の振興を図ろうとした政策がエコタウン事業である。キーワードはゼロエミッションで、それを具現化するために環境産業の立地を進めたのがエコタウン事業ともいえる。

解答では、エコタウン事業において、どの主体が、どのような社会問題に対して、何をしたのかが具体的に書かれていたら積極的に加点する。